

薬剤部からのお知らせ

2021 No.34

2021年7月6日発行



院外処方薬品情報

使用上の注意の詳細については電子カルテのJUS D.I.を参照して下さい。

2021年7月16日開始薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
イムセラカプセル 0.5mg (フィンゴリモド塩酸塩)	多発性硬化症治療剤
ビオプテン顆粒 10% (サブプロプテリン塩酸塩)	高フェニルアラニン血症用剤
レンビマカプセル 10mg (レンバチニブメシル酸塩)	抗悪性腫瘍剤
ゼビアックス油性クリーム 2% (オゼノキサシン)	キノロン系外用抗菌剤
ドボベツフォーム (カルシポトリオール水和物、ベタメタゾンジプロピオン酸エステル)	尋常性乾癬治療剤
インスリンアスパルト BS 注ソロスターNR「サノフィ」 (インスリンアスパルト)	糖尿病治療剤

(フィンゴリモド塩酸塩)

▶イムセラカプセル 0.5mg

Ⓒ

Imusera 0.5mg/Cp

[田辺三菱]

[薬価]8,200.9 円/Cp

[貯法]25℃以下

【効】多発性硬化症の再発予防及び身体的障害の進行抑制

【用】(内) 1日1回0.5mgを投与する。

(サブプロプテリン塩酸塩)

▶ビオプテン顆粒 10%

Biopten 100mg/1g/包

[第一三共]

[薬価]37,360.5 円/包

【効】①ジヒドロビオプテリン合成酵素欠損、ジヒドロプテリジン還元酵素欠損に基づく高フェニルアラニン血症(異型高フェニルアラニン血症)における血清フェニルアラニン値の低下

②テトラヒドロビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損に基づく高フェニルアラニン血症(テトラヒドロビオプテリン反応性高フェニルアラニン血症)における血清フェニルアラニン値の低下

【用】(内) ①1日2~5mg/kgを1~3回に分割投与するが、血清フェニルアラニン値が正常域に維持

される用量をもって、有効維持量とする。

②1日10mg/kg(1~3回に分割投与)から投与を開始し、臨床症状等の観察を行いながら、年齢に相応した血清フェニルアラニン値の目標値に維持される用量をもって、有効維持量とする。

(レンバチニブメシル酸塩)

▶レンビマカプセル 10mg

Ⓒ

Lenvima 10mg/Cp

[エーザイ]

[薬価]9,527.4 円/Cp

【効】根治切除不能な甲状腺癌、切除不能な胸腺癌

【用】(内) 1日1回24mgを投与する。

(オゼノキサシン)

▶ゼビアックス油性クリーム 2%

Zebiax (2%) 10g/本

[マルホ]

[薬価]70.2 円/g

【効】表在性皮膚感染症、瘡瘡(化膿性炎症を伴うもの)

【用】(外) 本剤の適量を1日1回、患部に塗布する。瘡瘡に対しては洗顔後、患部に塗布する。

▶ドボベットフォーム

㊦

Dovobet 60g/本

[協和キリン]

1本中：

カルシポトリオール水和物 52.2 μ g

ベタメタゾンジプロピオン酸エステル
0.643mg

[薬価]221.3 円/g

【効】尋常性乾癬

【用】(外) 1日1回、患部に適量塗布する。

(インスリンアスパルト(遺伝子組換え))

▶インスリンアスパルト BS 注ソロスターNR「サノフィ」

㊦

Insulin Aspart 300 単位/3mL/本 [サノフィ]

[薬価]1,418 円/キット

[貯法]禁凍結、2~8 $^{\circ}$ C、遮光

【効】インスリン療法が適応となる糖尿病

【用】(注) 本剤は持続型インスリン製剤と併用する超速効型インスリンアナログ製剤である。初期は1回2~20単位を毎食直前に皮下注する。持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量は1日4~100単位である。